宇宙施策に関する意識調査結果【詳細版】

株式会社NTTデータ経営研究所

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

INDEX

Ⅰ　調査概要

Ⅱ　集計分析結果

Ⅲ　参考資料

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅰ　調査概要

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

NTT DATA

Ⅰ 調査概要　…サマリ

■ 宇宙に関する取組は全年代・性別で広く支持されている

- 宇宙施策に関しては、分野によらず回答者の約9割が支持
- 宇宙予算を増やすことについては回答者の約8割が支持

■ 宇宙に関する将来技術を日本が推進していくことに対する支持は高い

- 宇宙太陽光発電や月面天文台、宇宙エレベーター、サブオービタル飛行といった将来技術について、日本として推進していくことに関して8割～9割が支持

■ 宇宙に関する取り組みに対する高い支持率がある一方で、宇宙利用に関する認知度は身近な例を除いては低い結果に

- GPSというキーワードについては約8割の認知
- 一方、災害状況を撮影する人工衛星やバックアップ回線としての人工衛星の認知については約4割

■ 月や火星に日本人宇宙飛行士を派遣すべきとの意向は高い

- 月面の探査計画である「アルテミス計画」の現時点の認知度は15%程度
- 一方、月や火星に日本人宇宙飛行士を派遣すべきとの意向は約8割

■ 宇宙産業の活性化に向けたベンチャーへの支援は広く支持されている

- 全体の8割が宇宙産業の活性化に向けて「宇宙関連のベンチャー企業を支援すべきだ」と回答
- 特に、10代では男女ともに9割強（男性：98.2%、女性：92.4%）がポジティブな回答

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

国民の宇宙に対する期待やイメージ、宇宙施策に対する支持の状況等を明らかにするために、Webアンケートによる調査を実施した

調査目的	国民の宇宙に対する期待・イメージ、宇宙施策に対する支持状況の把握
調査実施時期	2020年10月
調査対象	15歳以上の男女　646名 ※回答者の年代・性別に基づく12の区分において、各50名以上の回答を収集（詳細は右表）
調査方法	Webアンケート調査

	男性	女性
15-19歳	54名	52名
20-29歳	54名	56名
30-39歳	55名	55名
40-49歳	54名	50名
50-59歳	56名	55名
60歳以上	53名	52名

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅱ　集計分析結果

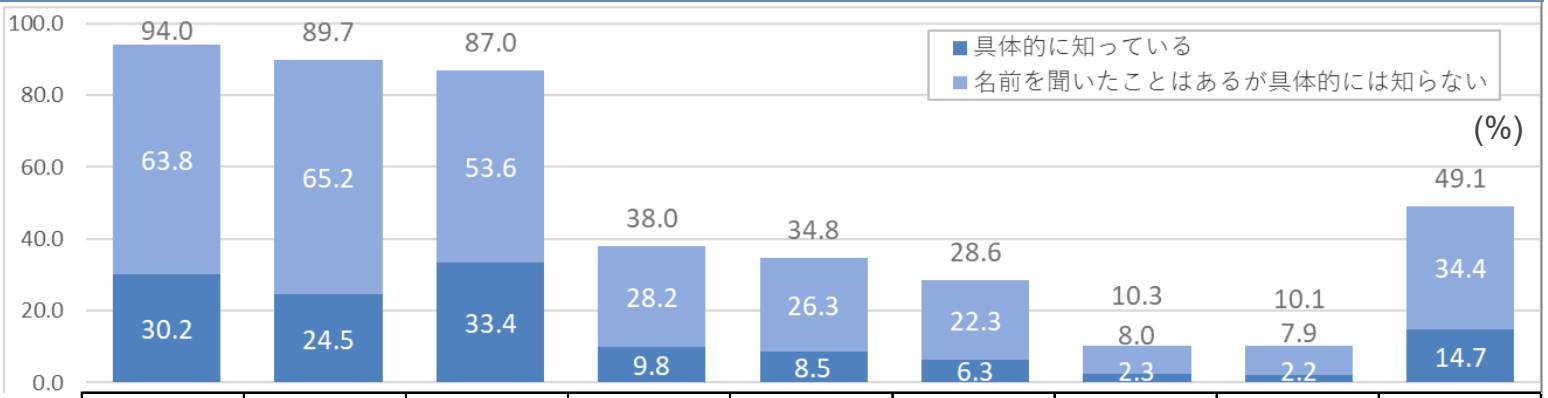
© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

NTT DATA

Ⅱ 集計分析結果
① 宇宙に関する知識（単語）

単語別ではISS、はやぶさ、JAXAの認知度が9割前後である一方、H-IIAロケット、SpaceX、みちびきは3割前後、アストロスケール、ALEは1割前後である

Q-01 次にあげる単語は宇宙に関係しています。これらについて、あなたの認知度合に当てはまるものをそれぞれ1つずつ回答してください。
（「名前を聞いたことはあるが具体的には知らない」「具体的に知っている」の回答割合）



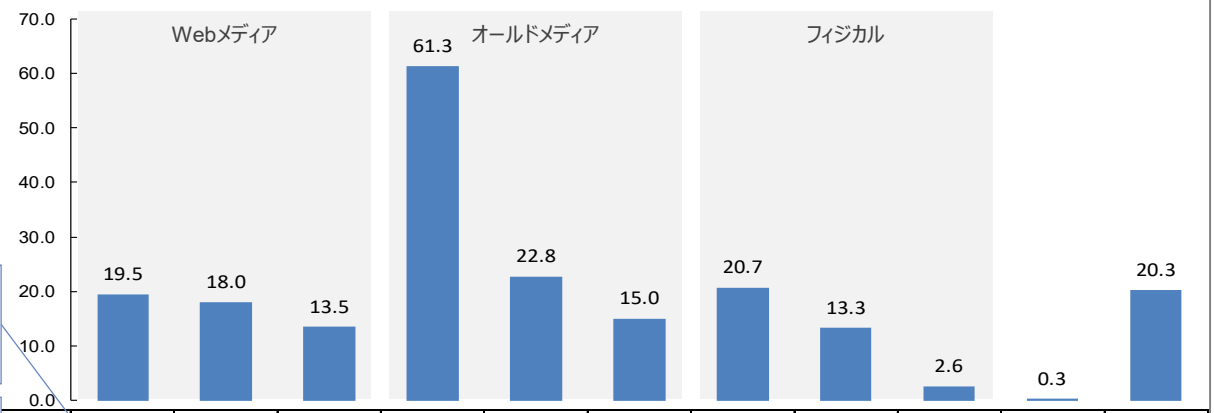
	国際宇宙ステーション	はやぶさ２	JAXA	H-IIAロケット	SpaceX	みちびき	アストロスケール	ALE	平均
Total	94.0	89.7	87.0	38.0	34.8	28.6	10.3	10.1	49.1
男性15-19歳	90.7	88.9	92.6	33.3	40.8	31.5	20.4	29.7	53.5
男性20-29歳	92.6	83.4	90.7	33.3	35.2	38.9	9.3	9.3	49.1
男性30-39歳	96.4	89.1	87.3	49.1	36.4	29.1	9.1	16.4	51.6
男性40-49歳	90.7	87.0	90.8	55.5	40.8	33.3	11.2	9.3	52.3
男性50-59歳	91.1	91.0	94.7	62.5	39.3	33.9	10.7	7.2	53.8
男性60歳以上	100.0	100.0	100.0	77.3	69.9	52.8	9.4	7.5	64.6
女性15-19歳	94.2	94.2	73.1	13.5	21.2	17.3	11.6	9.6	41.8
女性20-29歳	100.0	92.9	73.2	12.5	23.2	28.6	10.7	7.2	43.5
女性30-39歳	89.1	81.8	81.8	23.6	12.8	12.7	7.3	3.6	39.1
女性40-49歳	90.0	82.0	84.0	26.0	16.0	14.0	4.0	4.0	40.0
女性50-59歳	94.5	89.1	87.3	34.5	36.3	25.4	10.9	5.5	47.9
女性60歳以上	98.1	96.2	88.4	32.7	46.2	25.0	9.6	11.5	51.0

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅱ 集計分析結果
② 宇宙に関する情報との接点

宇宙に関する認知手段はテレビ・ラジオが全世代・性別で大きな割合を占めている
※男性ではWebメディア、女性では学校の授業や博物館等のフィジカルの媒体も主要な認知手段となっている

Q-02 あなたは宇宙活動について何から見聞きしたことがありますか。当てはまるものを全て回答してください。



	n=	Webサイト	YouTube等の動画	SNS（Facebook、Twitter、Instagram等）	テレビ・ラジオ	新聞、雑誌、本	映画、漫画（アニメを含む）	博物館・科学館・研究所などでの展示物	学校の授業	研究者・技術者などによる講演会・出前授業	その他	特にない
TOTAL	646	19.5	18.0	13.5	61.3	22.8	15.0	20.7	13.3	2.6	0.3	20.3
男性15-19歳	54	20.4	46.3	40.7	33.3	13.0	16.7	27.8	24.1	1.9	1.9	25.9
男性20-29歳	54	38.9	37.0	29.6	53.7	13.0	16.7	24.1	22.2	7.4	0.0	20.4
男性30-39歳	55	21.8	27.3	10.9	58.2	16.4	21.8	12.7	10.9	1.8	0.0	23.6
男性40-49歳	54	35.2	18.5	5.6	66.7	18.5	18.5	14.8	7.4	0.0	0.0	22.2
男性50-59歳	56	25.0	16.1	5.4	69.6	28.6	16.1	23.2	1.8	3.6	0.0	16.1
男性60歳以上	53	34.0	18.9	5.7	77.4	45.3	1.9	17.0	3.8	1.9	0.0	11.3
女性15-19歳	52	9.6	19.2	9.6	46.2	5.8	21.2	32.7	32.7	3.8	0.0	23.1
女性20-29歳	56	10.7	8.9	21.4	55.4	19.6	14.3	23.2	23.2	0.0	0.0	14.3
女性30-39歳	55	12.7	9.1	16.4	60.0	18.2	16.4	23.6	12.7	3.6	0.0	30.9
女性40-49歳	50	6.0	4.0	6.0	64.0	22.0	14.0	24.0	8.0	4.0	0.0	24.0
女性50-59歳	55	12.7	3.6	5.5	65.5	29.1	14.5	14.5	10.9	1.8	1.8	25.5
女性60歳以上	52	5.8	5.8	3.8	86.5	44.2	7.7	11.5	1.9	1.9	0.0	5.8

A. 10・20代男性はWebメディアと親和的であり、特に10代男性はテレビ・ラジオを逆転している

B. 10・20代以外の世代でも、男性はYouTube、Webサイト等を認知手段とする割合が高い

C. 20・30代女性は他世代に比べてSNSを認知手段とする割合が高い

D. テレビ・ラジオ、新聞・雑誌・本は、男女とも年代が上にいくほど割合が高くなっている

E. 学校や博物館を認知手段とする割合は、10-40代で女性が男性を上回っている

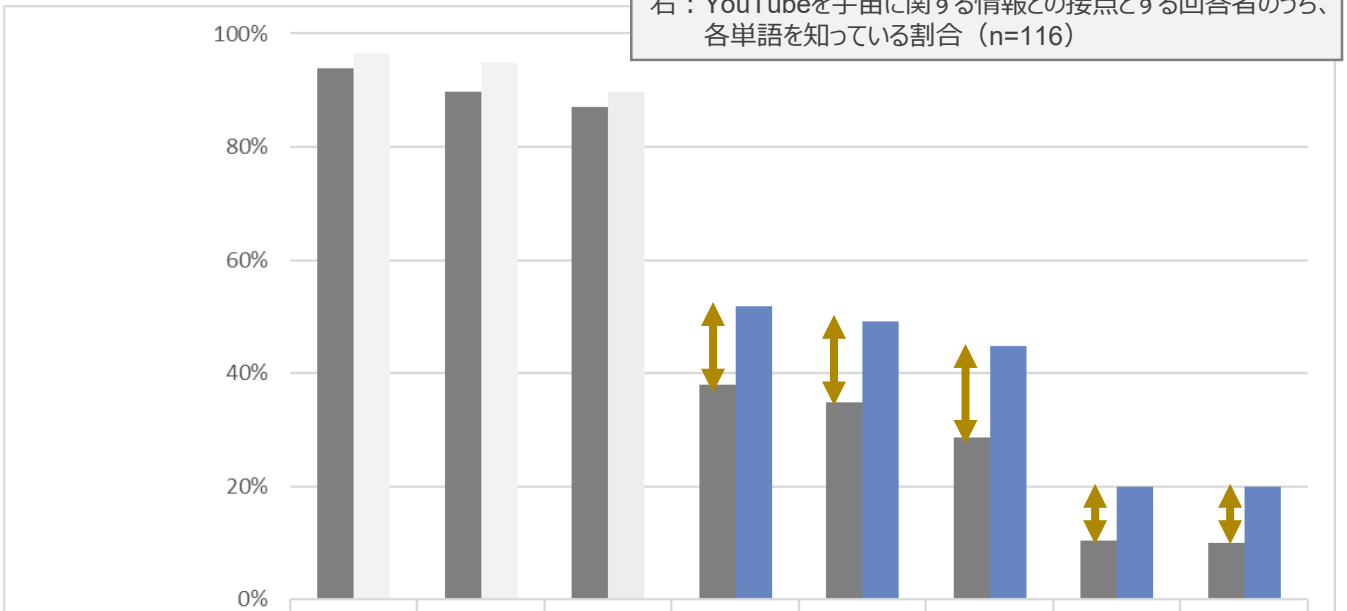
© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅱ 集計分析結果
③「宇宙に関する情報との接点」と「宇宙に関する知識」の関係

認知度が低い単語ほど、YouTube等を接点としている回答者の認知度と回答者全体の認知度のギャップが大きい傾向にある（YouTube等を接点としている回答者の認知度は10～15pt程度高い）

Q-01　宇宙に関する知識（単語）　×　Q-02　宇宙に関する認知手段

左：回答者全体のうち、各単語を知っている割合（n=646）
右：YouTubeを宇宙に関する情報との接点とする回答者のうち、各単語を知っている割合（n=116）



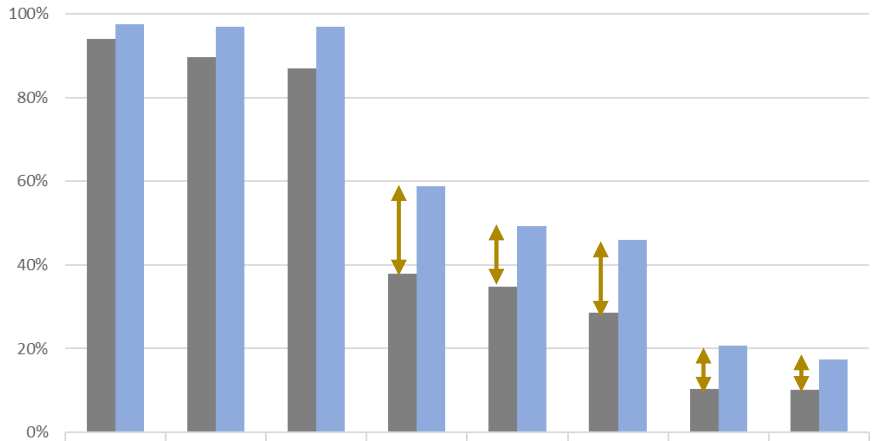
	ISS	はやぶさ2	JAXA	H-IIA ロケット	SpaceX	みちびき	アストロスケール	ALE
全体（n=646）	94.0%	89.6%	87.0%	37.9%	34.8%	28.6%	10.4%	10.1%
YouTube等の動画（n=116）	96.6%	94.8%	89.7%	51.7%	49.1%	44.8%	19.8%	19.8%

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅱ 集計分析結果
③「宇宙に関する情報との接点」と「宇宙に関する知識」の関係

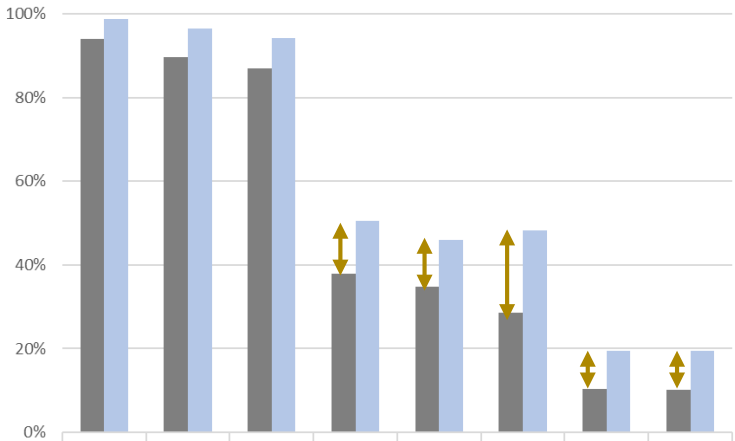
他のWebメディアであるWebサイト、SNSに関しても、認知度が低い単語ほど、ギャップが大きくなる傾向にある

Q-01 宇宙に関する知識（単語） × Q-02 宇宙に関する認知手段：Webサイト



	ISS	はやぶさ2	JAXA	H-IIA ロケット	SpaceX	みちびき	アストロスケール	ALE
全体（n=646）	94.0%	89.6%	87.0%	37.9%	34.8%	28.6%	10.4%	10.1%
Webサイト（n=126）	97.6%	96.8%	96.8%	58.7%	49.2%	46.0%	20.6%	17.5%

Q-01 宇宙に関する知識（単語） × Q-02 宇宙に関する認知手段：SNS



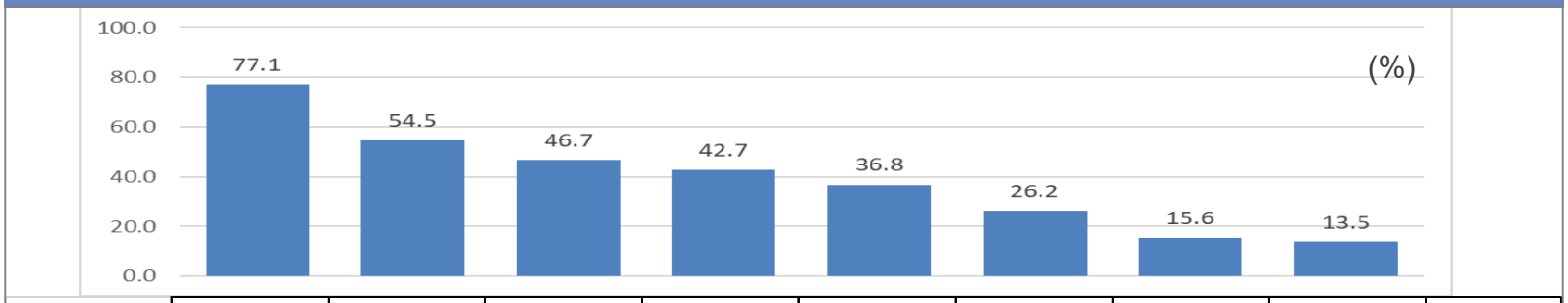
	ISS	はやぶさ2	JAXA	H-IIA ロケット	SpaceX	みちびき	アストロスケール	ALE
全体（n=646）	94.0%	89.6%	87.0%	37.9%	34.8%	28.6%	10.4%	10.1%
SNS（Facebook、Twitter、Instagram等）（n=87）	98.9%	96.6%	94.3%	50.6%	46.0%	48.3%	19.5%	19.5%

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅱ 集計分析結果
④ 宇宙に関する知識（使われ方）

宇宙活動に対する認知度では、高いものでGPSが約8割、飛行機Wi-Fiが約5割であるのに対して、アルテミス計画関連は約15%となっている

Q-03-1,04-1,05-1,06-1 あなたは次のことを知っていますか。それぞれ1つずつ回答してください。



	GPS（※1）	飛行機Wi-Fi（※2）	大気汚染観測（※3）	災害状況撮影（※4）	バックアップ回線（※5）	みちびきの運用（※6）	アルテミス計画（※7）	アルテミス計画への日本人参加（※8）	平均
Total	77.1	54.5	46.7	42.7	36.8	26.2	15.6	13.5	39.1
男性15-19歳	75.9	53.7	50.0	35.2	35.2	35.2	14.8	18.5	39.8
男性20-29歳	75.9	53.7	42.6	44.4	50.0	38.9	14.8	11.1	41.4
男性30-39歳	72.7	52.7	38.2	23.6	27.3	27.3	18.2	14.5	34.3
男性40-49歳	79.6	59.3	48.1	40.7	35.2	24.1	20.4	14.8	40.3
男性50-59歳	91.1	73.2	51.8	57.1	53.6	42.9	26.8	21.4	52.2
男性60歳以上	96.2	83.0	73.6	69.8	52.8	50.9	35.8	30.2	61.5
女性15-19歳	73.1	32.7	26.9	40.4	25.0	13.5	7.7	5.8	28.1
女性20-29歳	62.5	48.2	35.7	42.9	39.3	19.6	7.1	3.6	32.4
女性30-39歳	60.0	34.5	27.3	18.2	25.5	12.7	9.1	7.3	24.3
女性40-49歳	78.0	40.0	42.0	46.0	24.0	6.0	6.0	4.0	30.8
女性50-59歳	80.0	52.7	54.5	43.6	20.0	14.5	12.7	12.7	36.3
女性60歳以上	80.8	69.2	71.2	51.9	53.8	26.9	13.5	17.3	48.1

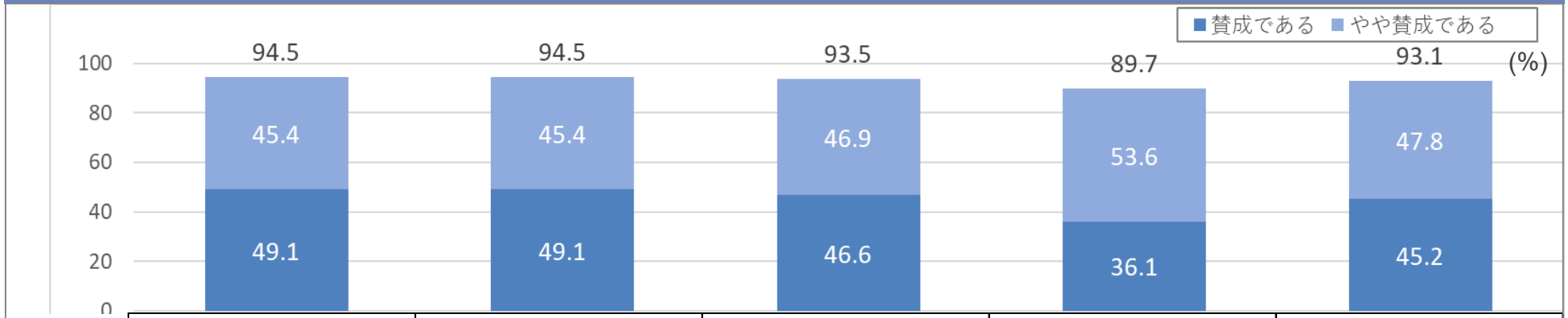
※1 スマートフォンの地図アプリやカー・ナビゲーションシステムは、人工衛星を用いて現在位置を表示している
※2 飛行機や船舶におけるインターネット通信は、データのやりとりに人工衛星との通信を利用している
※3 人工衛星の観測データを利用して大気汚染情報（黄砂や二酸化炭素濃度など）の把握が行われている
※4 大規模自然災害の発生直後に、人工衛星から撮影された画像が災害対応に活用されている
※5 地上通信回線のバックアップ（災害などで使えなくなったときの予備）には、人工衛星が利用されている
※6 日本では、独自の測位衛星である準天頂衛星システム（みちびき）を構築し、運用している
※7 昨年10月、日本は米国が主導する持続可能な月面の探査計画である「アルテミス計画」への参画を決めた
※8 「アルテミス計画」では、日本人宇宙飛行士の活躍の機会が計画されている

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅱ 集計分析結果
⑤ 宇宙施策に対する支持の状況（分野）[1/2]

宇宙施策全般で回答者の約9割が支持している
※特に通信・観測・測位は95%に迫る

Q-03～06-2 あなたは日本として次のことを推進していくことをどう思いますか。（「賛成である」「やや賛成である」の回答割合）



	通信衛星の開発・運用（※1）			地球観測衛星の開発・運用（※2）			測位衛星の開発・運用（※3）			月面活動に向けた研究開発や実証実験(※4)			平均		
Total	49.1	45.4	94.5	49.1	45.4	94.5	46.6	46.9	93.5	36.1	53.6	89.7	45.2	47.8	93.1
男性15-19歳	50.0	40.7	90.7	55.6	35.2	90.8	50.0	38.9	88.9	44.4	46.3	90.7	50.0	40.3	90.3
男性20-29歳	50.0	40.7	90.7	44.4	42.6	87.0	50.0	38.9	88.9	44.4	38.9	83.3	47.2	40.3	87.5
男性30-39歳	47.3	47.3	94.6	47.3	47.3	94.6	47.3	47.3	94.6	34.5	60.0	94.5	44.1	50.5	94.6
男性40-49歳	48.1	42.6	90.7	51.9	40.7	92.6	57.4	35.2	92.6	44.4	48.1	92.5	50.5	41.7	92.1
男性50-59歳	57.1	39.3	96.4	51.8	44.6	96.4	51.8	46.4	98.2	41.1	50.0	91.1	50.5	45.1	95.5
男性60歳以上	71.7	26.4	98.1	69.8	28.3	98.1	62.3	34.0	96.3	49.1	39.6	88.7	63.2	32.1	95.3
女性15-19歳	42.3	48.1	90.4	38.5	55.8	94.3	28.8	63.5	92.3	26.9	61.5	88.4	34.1	57.2	91.4
女性20-29歳	37.5	58.9	96.4	42.9	53.6	96.5	39.3	53.6	92.9	30.4	60.7	91.1	37.5	56.7	94.2
女性30-39歳	43.6	50.9	94.5	41.8	50.9	92.7	38.2	52.7	90.9	27.3	63.6	90.9	37.7	54.5	92.3
女性40-49歳	52.0	44.0	96.0	52.0	44.0	96.0	42.0	54.0	96.0	34.0	58.0	92.0	45.0	50.0	95.0
女性50-59歳	32.7	61.8	94.5	38.2	56.4	94.6	36.4	56.4	92.8	21.8	61.8	83.6	32.3	59.1	91.4
女性60歳以上	57.7	42.3	100.0	55.8	44.2	100.0	55.8	42.3	98.1	34.6	53.8	88.4	51.0	45.7	96.6

※1 あなたは、災害発生時などでも、いつでも、どこでもインターネットに繋がるように、日本として通信衛星の開発・運用を推進していくことについてどう思いますか。
※2 あなたは、災害対応や、より正確な天気予報を可能にするために、日本として地球観測衛星の開発・運用を推進していくことについてどう思いますか。
※3 あなたは、日常生活に密接に関わる位置情報を、外国の測位衛星に依存する状態を避けるために、日本として測位衛星の開発・運用を推進していくことについてどう思いますか。
※4 あなたは、月面での将来の活動を見据えて、日本として研究開発や実証実験を推進していくことについてどう思いますか。

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅱ 集計分析結果
⑥ 宇宙利用に対する知識と支持の関係 ［1/4：通信］

通信分野においては、当該分野における宇宙の使われ方に関する知識が豊かであるにつれ、施策に対する支持も高い傾向がみられる

宇宙に関する知識(使われ方)

[Q-03-1]

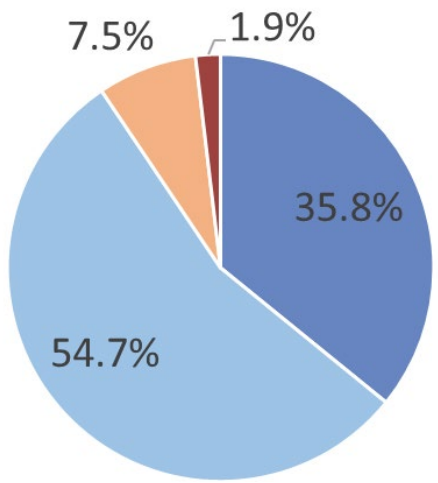
あなたは次のことを知っていますか。それぞれ1つずつ回答してください。

1. 飛行機や船舶におけるインターネット通信は、データのやりとりに人工衛星との通信を利用している
2. 地上通信回線のバックアップ（災害などで使えなくなったときの予備）には、人工衛星が利用されている

宇宙施策に対する支持

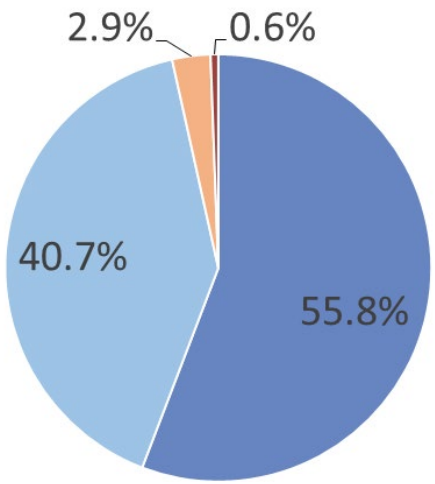
[Q-03-2]

1・2とも「知らない」（265人）



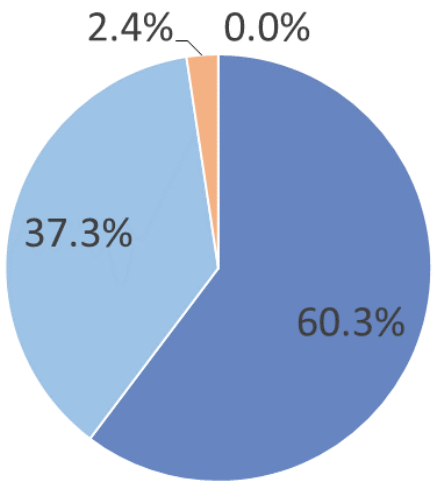
	人数	割合
賛成	95	35.8%
やや賛成	145	54.7%
やや反対	20	7.5%
反対	5	1.9%

1・2の片方を「知っている」（143人）



	人数	割合
賛成	96	55.8%
やや賛成	70	40.7%
やや反対	5	2.9%
反対	1	0.6%

1・2とも「知っている」（209人）



	人数	割合
賛成	126	60.3%
やや賛成	78	37.3%
やや反対	5	2.4%
反対	0	0.0%

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅱ 集計分析結果
⑥ 宇宙利用に対する知識と支持の関係 [2/4：観測]

観測分野においても、当該分野における宇宙の使われ方に関する知識が豊かであるにつれ、施策に対する支持も高い傾向がみられる

宇宙に関する知識(使われ方)

[Q-04-1]

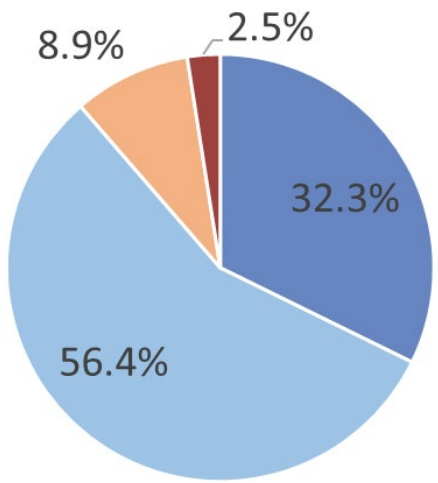
あなたは次のことを知っていますか。それぞれ1つずつ回答してください。

1. 大規模自然災害の発生直後に、人工衛星から撮影された画像が災害対応に活用されている
2. 人工衛星の観測データを利用して大気汚染情報（黄砂や二酸化炭素濃度など）の把握が行われている

宇宙施策に対する支持

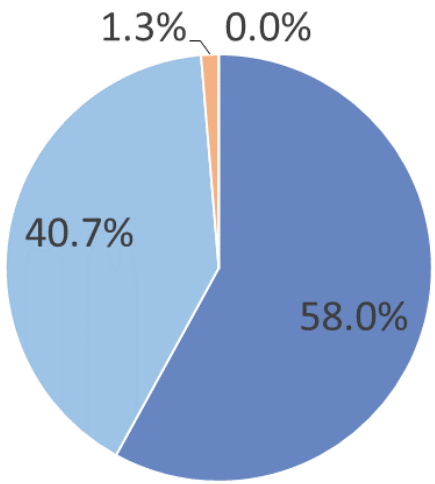
[Q-04-2]

1・2とも「知らない」（282人）



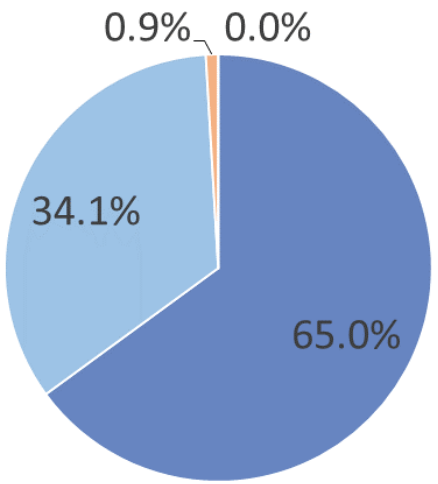
	人数	割合
賛成	91	32.3%
やや賛成	159	56.4%
やや反対	25	8.9%
反対	7	2.5%

1・2の片方を「知っている」（150人）



	人数	割合
賛成	87	58.0%
やや賛成	61	40.7%
やや反対	2	1.3%
反対	0	0.0%

1・2とも「知っている」（214人）



	人数	割合
賛成	139	65.0%
やや賛成	73	34.1%
やや反対	2	0.9%
反対	0	0.0%

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅱ 集計分析結果
⑥ 宇宙利用に対する知識と支持の関係 [3/4：測位]

測位分野においても、当該分野における宇宙の使われ方に関する知識が豊かであるにつれ、施策に対する支持も高い傾向がみられる

宇宙に関する知識(使われ方)

[Q-05-1]

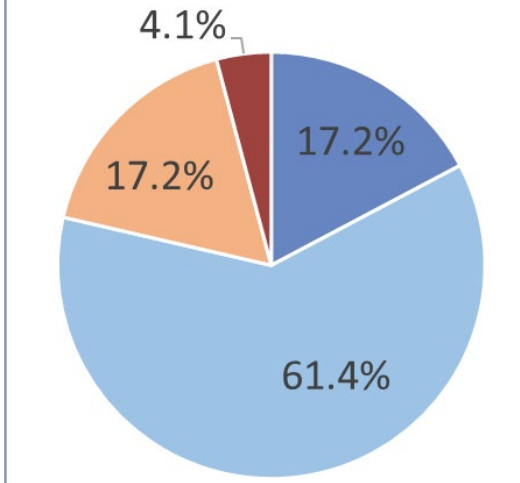
あなたは次のことを知っていますか。それぞれ1つずつ回答してください。

1. スマートフォンの地図アプリやカー・ナビゲーションシステムは、人工衛星を用いて現在位置を表示している
2. 日本では、独自の測位衛星である準天頂衛星システム（みちびき）を構築し、運用している

宇宙施策に対する支持

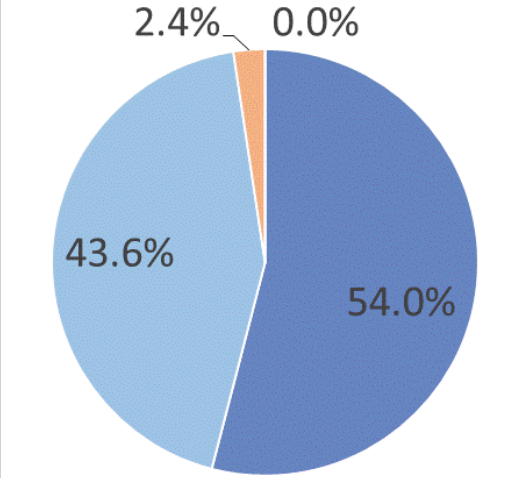
[Q-05-2]

1・2とも「知らない」（145人）



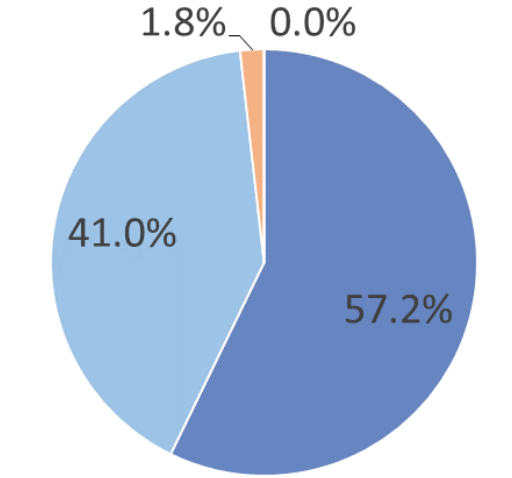
	人数	割合
賛成	25	17.2%
やや賛成	89	61.4%
やや反対	25	17.2%
反対	6	4.1%

1・2の片方を「知っている」（335人）



	人数	割合
賛成	181	54.0%
やや賛成	146	43.6%
やや反対	8	2.4%
反対	0	0.0%

1・2とも「知っている」（166人）



	人数	割合
賛成	95	57.2%
やや賛成	68	41.0%
やや反対	3	1.8%
反対	0	0.0%

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅱ 集計分析結果
⑥ 宇宙利用に対する知識と支持の関係 [4/4：月面活動]

月面観測分野においても、当該分野における宇宙の使われ方に関する知識が豊かであるにつれ、施策に対する支持も高い傾向がみられる

宇宙に関する知識(使われ方)

[Q-06-1]

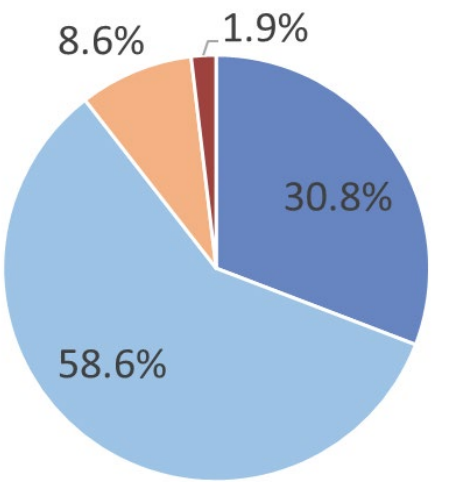
あなたは次のことを知っていますか。それぞれ1つずつ回答してください。

1. 昨年10月、日本は米国が主導する持続可能な月面の探査計画である「アルテミス計画」への参画を決めた
2. 「アルテミス計画」では、日本人宇宙飛行士の活躍の機会が計画されている

宇宙施策に対する支持

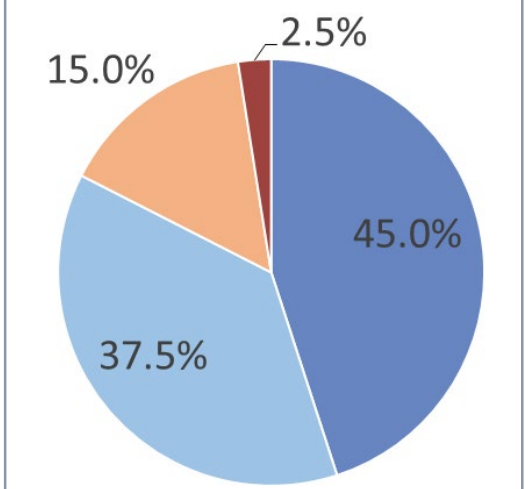
[Q-06-2]

1・2とも「知らない」（532人）



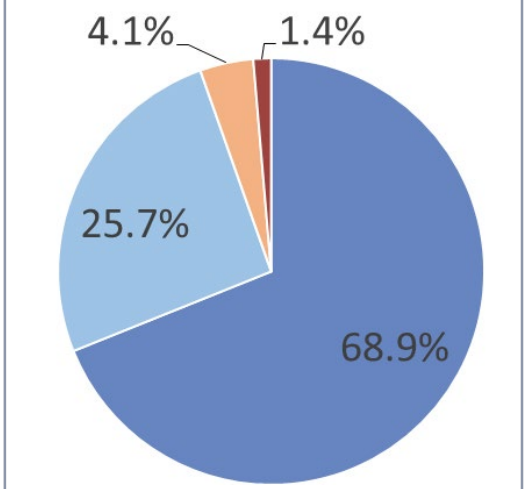
	人数	割合
賛成	164	30.8%
やや賛成	312	58.6%
やや反対	46	8.6%
反対	10	1.9%

1・2の片方を「知っている」（40人）



	人数	割合
賛成	18	45.0%
やや賛成	15	37.5%
やや反対	6	15.0%
反対	1	2.5%

1・2とも「知っている」（74人）



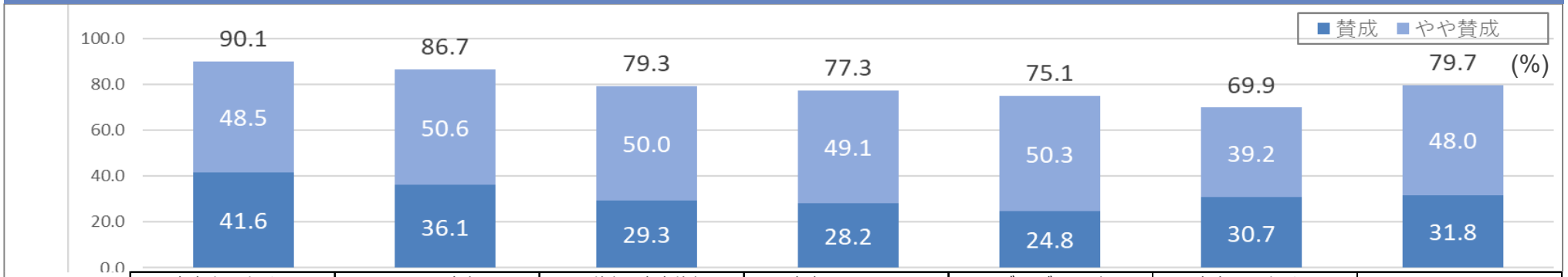
	人数	割合
賛成	51	68.9%
やや賛成	19	25.7%
やや反対	3	4.1%
反対	1	1.4%

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅱ 集計分析結果
⑦ 宇宙施策に対する支持の状況（取組）

宇宙太陽光発電、月面天文台への支持が約9割、他も軒並み7～8割程度となっている

Q-07 あなたは以下の活動等の実現に向けて、日本として推進することについてどう思いますか。「賛成である」から「反対である」の間で、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ回答してください。（「賛成である」「やや賛成である」の回答割合）



	宇宙太陽光発電（※1）			月面天文台（※2）			月旅行、宇宙旅行（※3）			宇宙エレベーター（※4）			サブオービタル飛行（※5）			宇宙原子力発電（※6）			平均		
Total	41.6	48.5	90.1	36.1	50.6	86.7	29.3	50.0	79.3	28.2	49.1	77.3	24.8	50.3	75.1	30.7	39.2	69.9	31.8	48.0	79.7
男性15-19歳	57.4	31.5	88.9	48.1	40.7	88.8	44.4	40.7	85.1	40.7	42.6	83.3	38.9	46.3	85.2	37.0	48.1	85.1	44.4	41.7	86.1
男性20-29歳	44.4	42.6	87.0	44.4	46.3	90.7	35.2	42.6	77.8	33.3	40.7	74.0	27.8	50.0	77.8	44.4	35.2	79.6	38.3	42.9	81.2
男性30-39歳	40.0	56.4	96.4	36.4	54.5	90.9	34.5	52.7	87.2	32.7	49.1	81.8	30.9	56.4	87.3	40.0	43.6	83.6	35.8	52.1	87.9
男性40-49歳	53.7	40.7	94.4	38.9	53.7	92.6	35.2	55.6	90.8	37.0	53.7	90.7	31.5	50.0	81.5	37.0	40.7	77.7	38.9	49.1	88.0
男性50-59歳	46.4	48.2	94.6	39.3	50.0	89.3	33.9	46.4	80.3	30.4	50.0	80.4	25.0	55.4	80.4	28.6	41.1	69.7	33.9	48.5	82.5
男性60歳以上	49.1	41.5	90.6	47.2	35.8	83.0	37.7	41.5	79.2	37.7	41.5	79.2	26.4	41.5	67.9	34.0	18.9	52.9	38.7	36.8	75.5
女性15-19歳	38.5	53.8	92.3	28.8	57.7	86.5	25.0	53.8	78.8	25.0	50.0	75.0	21.2	57.7	78.9	34.6	46.2	80.8	28.9	53.2	82.1
女性20-29歳	30.4	58.9	89.3	32.1	55.4	87.5	30.4	55.4	85.8	32.1	57.1	89.2	23.2	55.4	78.6	28.6	42.9	71.5	29.5	54.2	83.7
女性30-39歳	34.5	52.7	87.2	34.5	49.1	83.6	29.1	52.7	81.8	27.3	49.1	76.4	25.5	45.5	71.0	25.5	45.5	71.0	29.4	49.1	78.5
女性40-49歳	34.0	56.0	90.0	24.0	58.0	82.0	16.0	60.0	76.0	12.0	56.0	68.0	16.0	56.0	72.0	20.0	42.0	62.0	20.3	54.7	75.0
女性50-59歳	29.1	49.1	78.2	21.8	54.5	76.3	14.5	43.6	58.1	12.7	45.5	58.2	16.4	36.4	52.8	10.9	34.5	45.4	17.6	43.9	61.5
女性60歳以上	42.3	50.0	92.3	36.5	51.9	88.4	13.5	55.8	69.3	15.4	53.8	69.2	13.5	53.8	67.3	26.9	30.8	57.7	24.7	49.4	74.0

※1 宇宙太陽光発電（宇宙空間で太陽光発電を行い、その電力を地球上に送る）
※2 月面天文台（大気の影響を受けない月に天文台を設置し、天文観測を高度化する）
※3 月旅行、宇宙旅行（民間人が宇宙船に乗り、月や宇宙空間を旅行する）
※4 宇宙エレベーター（エレベーターのような輸送機関で地上と宇宙をつなぎ、人や物資が行き来する）
※5 サブオービタル飛行（高度100キロ程度まで上昇して地上に帰還する飛行により、数分間の無重力を体験する、又は太平洋間を約2時間で往来する）
※6 宇宙原子力発電（月面で原子力発電を行い、その電力を宇宙活動で利用する）

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅱ 集計分析結果
⑧ 宇宙施策に対する支持の状況（予算増大）

宇宙予算を増やすことについては全体で約8割が支持している

Q-08 現在の日本の宇宙予算は、おおよそ米国の15分の1、EUの3分の1の状況です。あなたは今後、日本の宇宙予算を増やすことについてどう思いますか。「賛成である」から「反対である」の間で、あなたの考えに最も近いものを回答してください。

■賛成である ■やや賛成である ■やや反対である ■反対である (%)

		賛成である	やや賛成である	やや反対である	反対である
TOTAL	646	22.0	54.6	18.4	5.0
男性15-19歳	54	29.6	48.1	16.7	5.6
男性20-29歳	54	38.9	42.6	16.7	
男性30-39歳	55	25.5	58.2	12.7	3.6
男性40-49歳	54	29.6	51.9	14.8	3.7
男性50-59歳	56	23.2	57.1	16.1	3.6
男性60歳以上	53	34.0	50.9	9.4	5.7
女性15-19歳	52	9.6	51.9	28.8	9.6
女性20-29歳	56	12.5	62.5	23.2	
女性30-39歳	55	12.7	65.5	16.4	5.5
女性40-49歳	50	24.0	48.0	24.0	4.0
女性50-59歳	55	7.3	60.0	23.6	9.1
女性60歳以上	52	17.3	57.7	19.2	5.8

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅱ 集計分析結果
⑨ 宇宙開発の在り方に対する意向[1/5]

「日本は宇宙開発における世界No.1を目指すべき」とのポジティブ・ネガティブの意向は拮抗している

Q-09-1 日本は宇宙開発における・・・
A 世界No.1を目指すべきだ　　B 世界No.1を目指すべきでない

■Aの考えに近い　■Aの考えにやや近い　■Bの考えにやや近い　■Bの考えに近い　(%)

		Aの考えに近い	Aの考えにやや近い	Bの考えにやや近い	Bの考えに近い
TOTAL	646	11.5	41.2	37.8	9.6
男性15-19歳	54	24.1	40.7	31.5	3.7
男性20-29歳	54	22.2	50.0	14.8	13.0
男性30-39歳	55	12.7	47.3	36.4	3.6
男性40-49歳	54	20.4	40.7	29.6	9.3
男性50-59歳	56	12.5	42.9	30.4	14.3
男性60歳以上	53	15.1	41.5	20.8	22.6
女性15-19歳	52	3.8	38.5	50.0	7.7
女性20-29歳	56	3.6	51.8	39.3	5.4
女性30-39歳	55	5.5	34.5	52.7	7.3
女性40-49歳	50	6.0	36.0	52.0	6.0
女性50-59歳	55		38.2	49.1	10.9
女性60歳以上	52	9.6	30.8	48.1	11.5

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅱ 集計分析結果
⑨ 宇宙開発の在り方に対する意向[2/5]

「国際社会と協力して宇宙開発を進めるべき」との意向が約9割となっている

Q-09-2 日本は国として米国など国際社会と・・・
A 協力して宇宙開発を進めるべきだ　　B 協力せず独自に宇宙開発を進めるべきだ

■Aの考えに近い　■Aの考えにやや近い　■Bの考えにやや近い　■Bの考えに近い　(%)

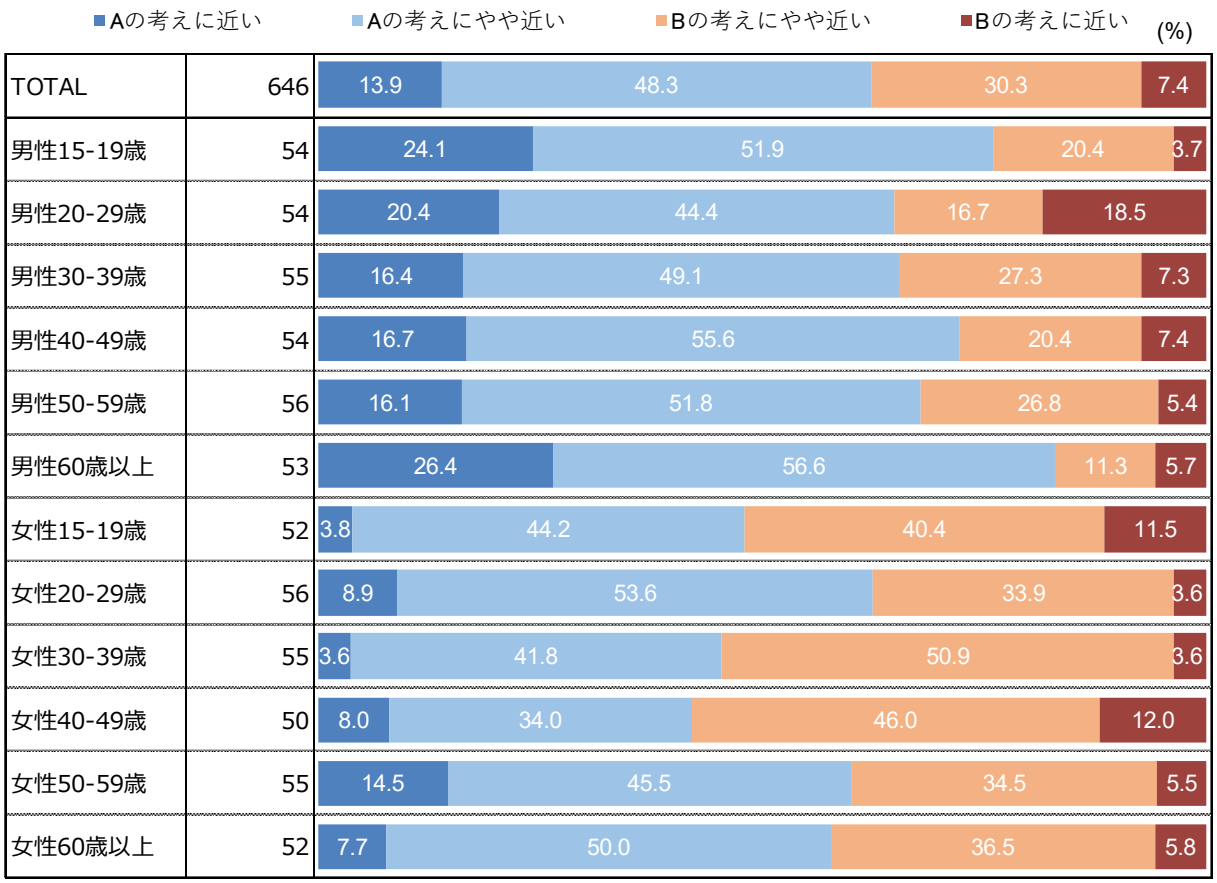
		Aの考えに近い	Aの考えにやや近い	Bの考えにやや近い	Bの考えに近い
TOTAL	646	32.8	53.9	10.8	
男性15-19歳	54	37.0	46.3	14.8	
男性20-29歳	54	33.3	44.4	16.7	5.6
男性30-39歳	55	34.5	54.5	9.1	
男性40-49歳	54	35.2	44.4	18.5	
男性50-59歳	56	35.7	50.0	10.7	3.6
男性60歳以上	53	49.1	43.4	3.8	3.8
女性15-19歳	52	26.9	61.5	9.6	
女性20-29歳	56	39.3	57.1	3.6	
女性30-39歳	55	30.9	52.7	12.7	3.6
女性40-49歳	50	26.0	64.0	10.0	
女性50-59歳	55	20.0	63.6	10.9	5.5
女性60歳以上	52	25.0	65.4	9.6	

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅱ 集計分析結果
⑨ 宇宙開発の在り方に対する意向[3/5]

宇宙開発における中心的な役割を担うのは「政府機関が中心」が約6割となっている
※男性は「政府機関が中心であるべき」との傾向が高い一方、女性おいては「企業であるべき」との傾向が高い結果に

Q-09-3 宇宙開発における中心的な役割を担うのは・・・
A 政府機関であるべきだ　　B 企業であるべきだ

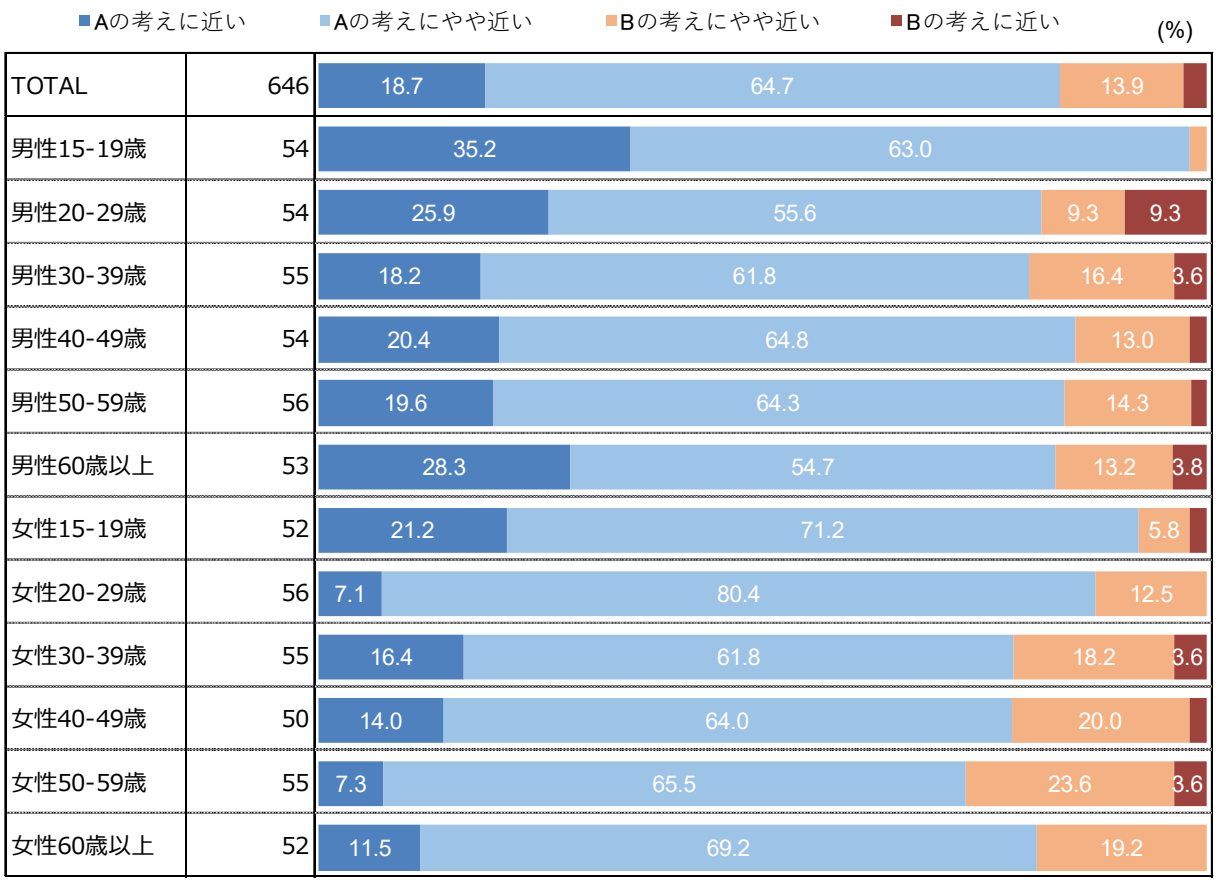


© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅱ 集計分析結果
⑨ 宇宙開発の在り方に対する意向[4/5]

宇宙産業の活性化に向けて「宇宙関連のベンチャーを支援すべき」であるとの意向は約8割となっている
※特に10代男女においてベンチャー支援への支持が高い

Q-09-4 日本は宇宙産業の活性化に向けて・・・
A 宇宙関連のベンチャー企業を支援すべきだ　B 宇宙関連のベンチャー企業を支援すべきでない



		Aの考えに近い	Aの考えにやや近い	Bの考えにやや近い	Bの考えに近い
TOTAL	646	18.7	64.7	13.9	
男性15-19歳	54	35.2	63.0		
男性20-29歳	54	25.9	55.6	9.3	9.3
男性30-39歳	55	18.2	61.8	16.4	3.6
男性40-49歳	54	20.4	64.8	13.0	
男性50-59歳	56	19.6	64.3	14.3	
男性60歳以上	53	28.3	54.7	13.2	3.8
女性15-19歳	52	21.2	71.2	5.8	
女性20-29歳	56	7.1	80.4	12.5	
女性30-39歳	55	16.4	61.8	18.2	3.6
女性40-49歳	50	14.0	64.0	20.0	
女性50-59歳	55	7.3	65.5	23.6	3.6
女性60歳以上	52	11.5	69.2	19.2	

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅱ 集計分析結果
⑨ 宇宙開発の在り方に対する意向[5/5]

月や火星に日本人宇宙飛行士を「派遣すべき」との意向は約8割となっている

Q-09-5 月や火星に日本人宇宙飛行士を・・・
A 派遣するべきだ　　B 派遣するべきでない

■Aの考えに近い　■Aの考えにやや近い　■Bの考えにやや近い　■Bの考えに近い　(%)

		Aの考えに近い	Aの考えにやや近い	Bの考えにやや近い	Bの考えに近い
TOTAL	646	19.2	64.7	13.2	
男性15-19歳	54	25.9	63.0	9.3	
男性20-29歳	54	24.1	51.9	14.8	9.3
男性30-39歳	55	23.6	61.8	14.5	
男性40-49歳	54	27.8	59.3	11.1	
男性50-59歳	56	28.6	57.1	12.5	
男性60歳以上	53	26.4	58.5	7.5	7.5
女性15-19歳	52	7.7	76.9	11.5	3.8
女性20-29歳	56	8.9	71.4	19.6	
女性30-39歳	55	10.9	74.5	10.9	3.6
女性40-49歳	50	20.0	64.0	14.0	
女性50-59歳	55	14.5	65.5	16.4	3.6
女性60歳以上	52	11.5	73.1	15.4	

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅲ　参考資料

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅲ 参考資料 ① 調査票[1/3]

No.	質問文	回答方法	選択肢
Q-01	次にあげる単語は宇宙に関係しています。これらについて、あなたの認知度合に当てはまるものをそれぞれ１つずつ回答してください。 ・ H-IIAロケット ・ 国際宇宙ステーション ・ みちびき ・ はやぶさ２ ・ JAXA ・ SpaceX ・ ALE ・ アストロスケール	１つ選択	1 初めて聞いた 2 名前を聞いたことはあるが具体的には知らない 3 具体的に知っている
Q-02	あなたは宇宙活動について何から見聞きしたことがありますか。当てはまるものを全て回答してください。	複数選択	1 Youtube等の動画 2 Webサイト 3 SNS（Facebook、Twitter、Instagram等） 4 テレビ・ラジオ 5 映画、漫画（アニメを含む） 6 新聞、雑誌、本 7 学校の授業 8 博物館・科学館・研究所などでの展示物 9 研究者・技術者などによる講演会・出前授業 10 その他（自由回答） 11 特にない
Q-03-1	あなたは次のことを知っていますか。それぞれ１つずつ回答してください。 ・ 飛行機や船舶におけるインターネット通信は、データのやりとりに人工衛星との通信を利用している ・ 地上通信回線のバックアップ（災害などで使えなくなったときの予備）には、人工衛星が利用されている	１つ選択	1 知っている 2 知らない
Q-03-2	あなたは、災害発生時などでも、いつでも、どこでもインターネットに繋がるように、日本として通信衛星の開発・運用を推進していくことについてどう思いますか。1（賛成である）から4（反対である）の間で、あなたの考えに最も近い数字を回答してください。	１つ選択	1 賛成である 2 やや賛成である 3 やや反対である 4 反対である

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

Ⅲ 参考資料 ① 調査票[2/3]

No.	質問文	回答方法	選択肢
Q-04-1	あなたは次のことを知っていますか。それぞれ１つずつ回答してください。 ・ 大規模自然災害の発生直後に、人工衛星から撮影された画像が災害対応に活用されている ・ 人工衛星の観測データを利用して大気汚染情報（黄砂や二酸化炭素濃度など）の把握が行われている	１つ選択	1 知っている 2 知らない
Q-04-2	あなたは、災害対応や、より正確な天気予報を可能にするために、日本として地球観測衛星の開発・運用を推進していくことについてどう思いますか。1（賛成である）から4（反対である）の間で、あなたの考えに最も近い数字を回答してください。	１つ選択	1 賛成である 2 やや賛成である 3 やや反対である 4 反対である
Q-05-1	あなたは次のことを知っていますか。それぞれ１つずつ回答してください。 ・ スマートフォンの地図アプリやカー・ナビゲーションシステムは、人工衛星を用いて現在位置を表示している ・ 日本では、独自の測位衛星である準天頂衛星システム（みちびき）を構築し、運用している	１つ選択	1 知っている 2 知らない
Q-05-2	あなたは、日常生活に密接に関わる位置情報を、外国の測位衛星に依存する状態を避けるために、日本として測位衛星の開発・運用を推進していくことについてどう思いますか。1（賛成である）から4（反対である）の間で、あなたの考えに最も近い数字を回答してください。	１つ選択	1 賛成である 2 やや賛成である 3 やや反対である 4 反対である
Q-06-1	あなたは次のことを知っていますか。それぞれ１つずつ回答してください。 ・ 昨年10月、日本は米国が主導する持続可能な月面の探査計画である「アルテミス計画」への参画を決めた ・ 「アルテミス計画」では、日本人宇宙飛行士の活躍の機会が計画されている	１つ選択	1 知っている 2 知らない
Q-06-2	あなたは、月面での将来の活動を見据えて、日本として研究開発や実証実験を推進していくことについてどう思いますか。1（賛成である）から4（反対である）の間で、あなたの考えに最も近い数字を回答してください。	１つ選択	1 賛成である 2 やや賛成である 3 やや反対である 4 反対である

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

No.	質問文	回答方法	選択肢
Q-07	あなたは以下の活動等の実現に向けて、日本として推進することについてどう思いますか。1（賛成である）から4（反対である）の間で、あなたの考えに最も近い数字をそれぞれ回答してください。 ・ 月旅行、宇宙旅行（民間人が宇宙船に乗り、月や宇宙空間を旅行する） ・ 宇宙エレベーター（エレベーターのような輸送機関で地上と宇宙をつなぎ、人や物資が行き来する） ・ サブオービタル飛行（高度100キロ程度まで上昇して地上に帰還する飛行により、数分間の無重力を体験する、又は太平洋間を約2時間で往来する） ・ 宇宙太陽光発電（宇宙空間で太陽光発電を行い、その電力を地球上に送る） ・ 宇宙原子力発電（月面で原子力発電を行い、その電力を宇宙活動で利用する） ・ 月面天文台（大気の影響を受けない月に天文台を設置し、天文観測を高度化する）	1つ選択	1 賛成である 2 やや賛成である 3 やや反対である 4 反対である
Q-08	現在の日本の宇宙予算は、おおよそ米国の15分の1、EUの3分の1の状況です。あなたは今後、日本の宇宙予算を増やすことについてどう思いますか。1（賛成である）から4（反対である）の間で、あなたの考えに最も近い数字を回答してください。	1つ選択	1 賛成である 2 やや賛成である 3 やや反対である 4 反対である
Q-09	次の考え方についてあなたはどう思いますか。「Aの考えに近い」から「Bの考えに近い」の間で、それぞれ最も近いものを回答してください。 ・ 日本は宇宙開発における・・・ A 世界No.1を目指すべきだ B 世界No.1を目指すべきでない ・ 日本は国として米国など国際社会と・・・ A 協力して宇宙開発を進めるべきだ B 協力せず独自に宇宙開発を進めるべきだ ・ 宇宙開発における中心的な役割を担うのは・・・ A 政府機関であるべきだ B 企業であるべきだ ・ 日本は宇宙産業の活性化に向けて・・・ A 宇宙関連のベンチャー企業を支援すべきだ B 宇宙関連のベンチャー企業を支援すべきでない ・ 月や火星に日本人宇宙飛行士を・・・ A 派遣するべきだ B 派遣するべきでない	1つ選択	1 Aの考えに近い 2 Aの考えにやや近い 3 Bの考えにやや近い 4 Bの考えに近い

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

NTT DATA

Trusted Global Innovator

© 2020 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.